

3 月になってしまいました。LCAF 通信を 2 月中に発行できませんでした。年度末に向かったの
仕事がたくさんあったのと体調を崩したのが理由です。それで、この号は LCAF の活動が中心に
なってしまいました。この先健康に注意して、桜を迎えたいと思います。

/// I N D E X ///

- ・ ISO 関連解説-----LCA と CFP の改訂中の規格の整理
- ・ LCA の実務 mini-----工業会のガイドラインの作成方法
- ・ LCAF からお知らせ...賛同会員になってください。
- ・ 編集後記.....音楽のこと

■■ ISO 関連解説 : LCA と CFP の改訂中の規格の整理 ■■

産業技術総合研究所の IDEA ラボ（田原室長）が中心になって運営して来た「LCA 活用推進コ
ンソウシウム」が今年度で終了し、AIST-IDEA の販売は AIST Solutions が行うことになりまし
た。2 月 25 日（火）に最後の公開講演会が行われ、私も会長として「現在の LCA と CFP の ISO
の活動」について最後の報告をしました。その中の 3 つの表を添付します。

LCA は様々な環境影響を評価し、CFP は気候変動だけを評価します。両方とも「製品」と「組
織」の規格があります。1 の表に示したように、この 4 つの違いを認識することが重要です。混
同しないように注意してください。「製品」については LCA も CFP も ISO 規格が重視されてい
ますが、「組織の CFP」については ISO ではなく、GHG プロトコルの「Scope3 基準」を多くの
企業が使っています。「組織の LCA」の規格もありますが、実施している企業は少ないと思いま
す。LCA の基本規格である ISO14040:2006 と ISO14044:2006 はほぼ 25 年間ずっと改訂されて
いません。この規格を変えずに、次々に新しい規格に新しい活動を組み込んで改訂されています。
たとえば、ISO14067:2018 には LCA の規格にはないバイオマス関連の GHG 排出量の算定の方
法が示されています。「製品」も「組織」も CFP の規格は GHG プロトコルの Scope3 基準も含め
て改訂作業中です。

2 の表は、カーボンニュートラルに関する規格を示しています。気候変動だけを評価する規格
です。ISO14068-1:2023（カーボンニュートラリティ）は、「製品」にも「組織」にも使えますが、
作成が始まった ISO14060（ネットゼロ）は「組織」の規格です。カーボンニュートラルとネッ
トゼロは良く似た概念ですが、ネットゼロの方が、「地球全体での人為的な GHG 排出量と吸収量
が釣り合うこと」が強く意識されています。ISO14068-1:2023 がトランジションの間でも「削減
のクレジット」の購入によって GHG 排出量のオフセットを認めて、企業がカーボンニュート
ラルであることを宣言するための規格になっているのに対し、ISO14060（ネットゼロ）ではトラン
ジションの間のオフセットを認めず「企業が地球全体のネットゼロに向かう姿勢」を評価する規
格として開発が進められています。もう一つの ISO32212（サステナブルファイナンス-金融機関
のネットゼロトランジション計画）は、その他の規格が TC207:環境マネジメントで作成されてい
るのとは違い、TC322(サステナブルファイナンス)で作成中です。しかし、様々な産業セクターの
企業を対象とする ISO14060 の金融セクター版として、歩調を合わせて開発が進められています。
両方とも今年の 11 月の気候変動枠組み条約締約国会議（COP30）での発表を計画しています。

3 の表は、現在話題の「マスバランスモデル」の規格の開発状況を示しています。基本規格は、
ISO22095:2020 ですが、ISO13662 がその詳細版として作成が進み、また LCA への適用が
ISO14077 として作成が始まりました。ISO14021（タイプ II 環境ラベラー自己宣言）での利用
も注視する必要があります。マスバランスモデルについては前号（LCAF 通信 No.80）を参考に
してください。

気候変動に関する「製品」と「組織」の ISO 規格が大きく動いています。今後も動きがあるた
びに、この LCAF 通信で報告します。

1. LCAとCFPの算定に関する規

	製品	組織
LCA	ISO14044:2006 ISO14040:2006	ISO14072:2006
CFP	ISO14067:2018 改訂開始 GHGプロトコル(製品基準:2011)	ISO-14064-1:2006 GHGプロトコル

2. カーボンニュートラルとネットゼ

カーボンニュートラルリティ

3. マスバランスモデルに関

チェインofカストディー 一般的用語とモデル

Chain of custody- General terminology and models

チェインofカストディー マスバランス 要求事項とガイドライン

Chain of custody- Mass balance- Requirements and guideline

LCA - LCAへのチェインofカストディアプローチの適用のための要求事項
ガイドライン

■■ LCAの実務 mini25 : 工業会のガイドラインの作成方法 ■■

最近、工業会の事務局から CFP の「工業会ガイドライン作成の支援」や「工業会ガイドラインのレビュー」を依頼されることが多くなっています。昨年（2023 年 3 月）に経済産業省・環境省が「カーボンフットプリントガイドライン（<https://www.env.go.jp/content/000124385.pdf>）」を発行し、また今年度も環境省が 2 月に「カーボンフットプリント（CFP）表示ガイド（https://www.env.go.jp/press/press_04288.html）」を発行しました。この両方の委員会の委員長を LCAF 理事長の稲葉が務めたことが背景にあるようです。

これらのガイドラインは、稲葉の長年の経験を生かして多くの事例を念頭において助言し、作成されていますが、それぞれの工業会に特殊なことが全て配慮されているわけではありません。ですから、工業会独自の特徴に合わせたガイドラインを作成することが推奨されています。

現在、多くの皆さんが実施している CFP は、ISO14025 : 2006 に示された「タイプ III 環境ラベル」ではありません。ISO14021:2016 の「タイプ II : 自己宣言」です。経済産業省・環境省の「カーボンフットプリントガイドライン」に準じて作成し、消費者にわかりやすく、誤解を生まない表示が必要とされています。

そのためには、対象とする製品の事例（ケーススタディ）をいくつか行い、そのすべてに適用できる算定ルールを作ることが必要です。算定ルールを先に作って、それを基に事例（ケーススタディ）を重ねると考える工業会がありますが、まずは、個社の事例をいくつか先行させることが重要です。LCAF では、そのような事例（ケーススタディ）も支援しています。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

○賛同会員になってください。

LCAF の運営では、法人・団体の皆様による賛同の力が大きな支えです。LCAF への賛同会員としてご入会をご検討下さい。3 月中に 4 月からの賛同会員費（10 万円/口）をお支払い頂くことが可能です。特典もありますので、ぜひご検討ください。

<https://lcaf.or.jp/support-members/>

○[再掲です] 新しい参考図書「基礎から学ぶ LCA～LCA の実施と活用～」を発行しました。

以下からお申込みください。（3,000 円＋税＋送料）です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

■■ 編集後記：音楽のこと ■■

小学校でハーモニカと縦笛（最近はリコーダーというようです）を習いました。曲は「アマリス」でした。中学校でオーケストラのレコードを聴きました。「ベートーベンがショッパン（食パン）食って、ヘンデル、ヘンデル、バッハは」と遊んだことしか覚えていません。高校時代に音楽の時間があつたかどうか定かではありません。大学に入ってコンパで飲酒し、大声でアカペラで歌謡曲を歌いました。大学院で研究を始めた頃、中学生の時にグループサウンズだった彼の「仰向けに寝がえりうって・・・」が流行りました。

時がたって、40歳を前にしてウイーンで1年ちょっと暮らすことになりました。アパートの通りを挟んだ斜迎えがシューベルトの生家でした。妻に連れられて、スターツオッパー（国立歌劇場）でカルメンを見ました。ステージが見えるかどうかの席でしたが衝撃でした。魔笛、アイーダ、トーランドット、定番のオペラはどれも心に残ります。主人公の歌を合唱が追いかけるのが好きです。私も隅っこで良いから舞台に立ちたいと思いました。フォルクスオッパー（民族歌劇場？）のオペレッタも大好きです。レハールのメリーウイドウはもう映画のフーテンの寅さんを見る心持です。最近のものではマイフェアレディもあります。あ。これはミュージカルですね。ドイツ語ですので言葉はわかりませんが、楽しめます。

バレエは、なんといってもくるみ割り人形ですね。言葉がなくてもわかります。ヨハンシュトラウスのこうもりは前奏曲が圧巻です。舞台を見なくても楽しめます。ドボルザークの第8番のコンサートに行きました。すごくよかったです。

さて、オペラは総合芸術だと言われます。オーケストラは純粹に「音楽」です。歌も、言葉も、ダンスもないのに、なぜ楽しめるのでしょうか。。。私は、まだその領域にまで行けませんが、人が感情とともに自然に持っている想像力のような気がします。私は、オーケストラのバイオリンのボー（棒？）イングが一斉に上を向き、コントラバスが皆で前のめりになるのを見るのが好きです。まだまだビジュアルの世界ですね。

大学を退職してから、しばらくカラオケに行っていない。「長崎は今日も。。。と私が歌うので後ろで「ワワわわー。。」と合わせてくれる人に、連れていてもらいたいと思っています。

（LCAF 理事長 稲葉 敦）

ご意見、ご感想、この「LCAF 通信」の配信停止のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構
Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)
(エルカフと呼んで（読んで）ください)
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7
アルテール池袋 608
電子メール：lcaf-contact@lcaf.or.jp
URL：<https://lcaf.or.jp/>